

特定施設及び除害施設に係る
別紙記入要領及び記入例

排水処理施設設置事業場用

生物（活性汚泥）による処理（例：飲食店(旅館業)）
※自社の排水を処理する場合（特定施設番号66の6等に該当）

※記入について不明な点等ありましたら、所管の下水道事務所にお問合せください。
なお、届出の際には、当局から追記・修正をお願いする場合があります。

届出別紙記入要領及び記入例

目次

- p.1・・・ 1. 工場又は事業場の概要 特定施設の構造及び使用の方法
- (1)工場又は事業場の規模等
 - (2)主要製品名及び生産量
 - (3)操業の系統（作業工程フローシート）
- p.2・・・ (4)特定施設等の種類、構造、使用時間及び使用原材料
- (5)特定施設等の設置場所及び特定施設等に関連する
機械・装置の配置（別添図）
- p.3・・・ (6)特定施設等から排出される汚水等の汚染状態
- p.4・・・ 2. 除害施設の構造及び使用の方法 汚水等の処理方法、下水の量及び水質、用排水の系統
- (1)汚水等の処理の系統（フローシート）及びその説明
- P.5・・・ (2)処理施設の種類、構造、使用時間及び消耗資材
- (3)処理施設の設置場所及び配置（別添図）
- p.6・・・ (4)処理施設別、汚水量及び水質
- p.7・・・ (5)汚水等の処理によって生じる残さ及び濃厚廃液の種類等
- (6)施設の建設費等
 - (7)使用水量
- p.8・・・ (8)用水及び排水の系統（別添図）
- (9)公共下水道へ排除する下水の量及び水質

1. 工場又は事業場の概要 特定施設の構造及び使用の方法

(1) 工場又は事業場の規模等

- | | |
|--------------|--|
| ア 業種 | 事業場で行う業務について、日本標準産業分類を参考に記入してください。 |
| イ 当該事業場創業年月日 | 当該事業場で事業を始める年月日(当該事業場の実際の稼働年月日)を記入してください。 |
| ウ 操業時間 | 操業開始時刻と操業終了時刻を記入してください。
又、操業時間(休息、休憩時間を含む。)については()内に記入してください。 |
| エ 資本金 | 単位は「万円」で記入してください。
なお、個人事業の場合は「個人」と記入してください。 |
| オ 従業員数 | 届出の対象となっている事業場の従業員数(パート及びアルバイトを含む。)を記入してください。
なお、他に本社や事業場等がある場合は、()内に全従業員数を記入してください。 |
| カ 休業日 | 例えば「日・祝日」、「月・第四木曜日」のように記入してください。 |
| キ 水質管理責任者 | 有資格者を水質管理責任者として選任し、届出書を提出している場合に記入してください。 |

(2) 以下、次頁以降の記入例を参考に記入してください。

※下水道局からこの別紙の他に必要な添付書類（図面、カタログ等）の提出を求められた場合は、御協力いただきますようお願いいたします。

工場又は事業場の概要

1. 特定施設の構造及び使用の方法

(1) 工場又は事業場の規模等

業種	飲食店(旅館業)	資本金	7,000万円	敷地面積	1,000㎡
当該事業場 創業年月日	平成 27年9月1日	従業員数	50 (150)人	作業場面積	下記参照
操業時間	0時～24時 (24時間)	休業日	なし	水質管理 責任者	下水 一郎

(2) 主要製品名及び生産量

宿泊に係る諸業務、飲食物の提供等
 ① 和食 800食/日
 ② 洋食 500食/日
 ③ 軽食 100食/日

・作業場面積またはそれぞれの店舗の業務の用に供する面積(厨房、客席、従業員控室、倉庫等)を記入してください。書ききれない場合は別紙等に記入してください。

・(2)には、主たる業務内容を記入してください。

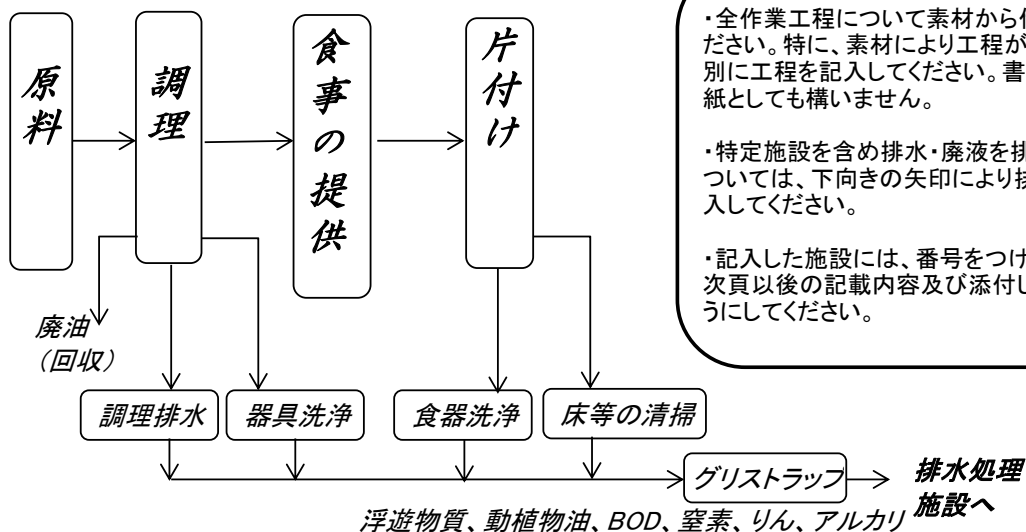
・生産量は金額ではなく物量単位とし、日または月の平均で記入してください。季節変動がある場合はその旨を記入してください。

(3) 操業の系統 (作業工程フローシート)

	① 宴会場 (3階)	② ××レストラン (4階)	③ 喫茶〇〇 (1階)
店名			
厨房	200㎡	150㎡	30㎡
客席	400㎡	250㎡	150㎡
その他	90㎡	50㎡	20㎡

(従業員用更衣室、倉庫、洗面所等)

※①、②、③共通



・全作業工程について素材から仕上げまで図示してください。特に、素材により工程が異なる場合は、素材別に工程を記入してください。書ききれない場合は別紙としても構いません。

・特定施設を含め排水・廃液を排出する全ての施設については、下向きの矢印により排出される物質名を記入してください。

・記入した施設には、番号をつけてください。番号は、次頁以後の記載内容及び添付した図面と一致するようにしてください。

(4) 特定施設等の種類、構造、使用時間及び使用原材料

施設番号	①	②	③	
施設の名称	宴会場厨房 (3階)	××レストラン厨房 (4階)	喫茶〇〇厨房 (1階)	<p>・特定施設のみでなく、排水・廃液を排出する施設(テナント等)について、名称と施設番号を記入してください。飲食店の場合は、各店舗について記入してください。ただし、トイレなど、生活排水のみがでる施設については、記入は不要です。</p> <p>・形式・構造は、(5)の別添の配置図があれば記入は不要です。</p> <p>・主要寸法には、作業場面積またはそれぞれの店舗の業務の用に供する面積(厨房、客席、従業員控室、倉庫等)を記入してください。(1頁の作業場面積と一致します。)</p>
形式				
構造				
主要寸法	690㎡	450㎡	200㎡	
能力	500席	200席	100席	<p>・使用時間の欄には、特定施設の使用時間を記入してください。営業時間ではないので注意してください。</p> <p>・季節変動がある場合はその旨を記入してください。</p> <p>・使用する原材料や薬品(洗剤等)の名称・量を記入してください。</p> <p>・排水に関してほかに情報がある場合は、「その他」欄に記入してください。</p>
工事着手(予定)年月日	平成27年6月1日	同左	同左	
工事完成(予定)年月日	平成27年8月1日	同左	同左	
使用開始(予定)年月日	平成27年9月1日	同左	同左	
使用時間間隔及び1日あたりの使用時間	5時～22時30分 (17.5時間)	5時～22時30分 (17.5時間)	8時～20時00分 (12時間)	
季節変動の概要	2, 10月は少なく、 8, 12月は多い。	2, 10月は少なく、 8, 12月は多い。	2, 10月は少なく、 8, 12月は多い。	
使用原材料の種類、使用方法及び使用量	食材各種 食器洗い用洗剤 ・液体中性洗剤2L/日 ・粉石鹼1kg/日 床磨き用洗剤 ・粉石鹼1kg/日	食材各種 食器洗い用洗剤 ・液体中性洗剤1L/日 ・粉石鹼0.3kg/日 床磨き用洗剤 ・粉石鹼0.3kg/日	食材各種 食器洗い用洗剤 ・液体中性洗剤0.4L/日 床磨き用洗剤 ・粉石鹼0.1kg/日	
その他				

(5) 特定施設等の設置場所及び特定施設等に関する機械・装置の配置 添付第(1)図のとおり

- ・事業場全体の平面図に、各厨房、配膳室、客室等の位置を図示してください。
- ・各厨房、配膳室の位置図に調理機器・洗浄機器・流し・グリーストラップ等の位置を図示してください。

(6) 特定施設等から排出される汚水等の汚染状態

施設の名称		① 宴会場厨房	② ××レスト ラン厨房	③ 喫茶〇〇 厨房	・排水のでる施設について記載 してください。施設の名称は2頁 (4)と同じとし、2頁の施設番号 も記入してください。	
汚水量	通常	25	25	10		
(m ³ / 日)	最大	30	30	12		
水質	pH	通常	6.5~8.6	6.5~8.6	6.5~8.6	・「通常」の欄には1日の平均 排水量(水質)を記入してくださ い。変動がある場合には「最 大」の欄に1日の最大排水量 (最大濃度の水質)も記入して ください。 ・「水質」の欄には、下水排除 基準表から、排出される可能 性のある水質項目と濃度をす べて記入してください。
		最大	6~9	6~9	6~9	
	BOD	通常	1000	1000	600	
		最大	1500	1500	700	
	SS	通常	150	150	100	
		最大	200	200	150	
	動植物油	通常	150	150	80	
		最大	200	200	100	
	窒素	通常	100	100	80	
		最大	120	120	100	
	りん	通常	10	10	5	
		最大	12	12	8	
	温度	通常	30℃	30℃	30℃	
		最大	40℃	40℃	40℃	
沃素 消費量	通常	100	100	100		
	最大	220	220	220		
	通常					
	最大					
	通常					
	最大					
	通常					
	最大					

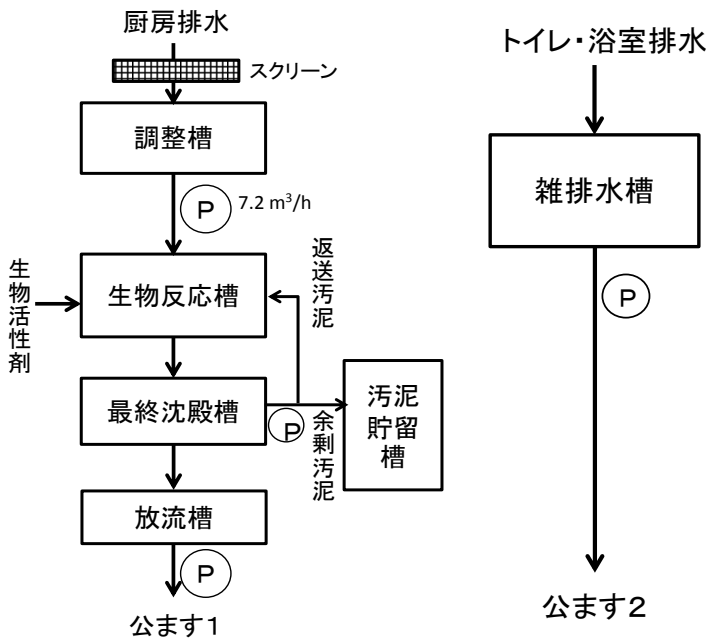
単位・温度、pHを除きmg/l、ダイオキシン類はPTEQ/l

2.

汚水等の処理方法、下水の量及び水質、用排水の系統

(1) 汚水等の処理の系統（フローシート）及びその説明

- ・排水処理の経路図は、別添第1図のとおり。
- ・排水処理の平面図は、別添第1・2図のとおり。
- ・排水処理の詳細なフローシート及び各槽の概要は、別添第3図のとおり。



厨房排水はスクリーンで夾雑物を除去したのち、調整槽に入る。
 調整槽からポンプアップで生物反応槽に入り、活性汚泥により生物処理(滞留時間 約7時間)
 最終沈殿槽にて汚泥を沈殿除去(滞留時間 約4時間)し、上澄みは放流槽へ。
 放流槽から排出ポンプにより、公ます1へ下水道放流する。
 沈殿した汚泥は、引き抜いて汚泥貯留槽にため、1週間に1度業者回収処理。

トイレ・浴室等生活排水は一度雑排水槽にため、ポンプアップにより公ます2より下水道放流。

・汚水等の処理工程を、付属機器類・槽の有効容量を含めて全て記載してください。書ききれない場合は別添としてください。

・汚水等の処理方法については、処理条件も含めて詳細がわかるように記入してください。

・排水処理施設について施工会社等からの詳しい図面・設計計算書・容量計算書・維持管理指針等があれば、そちらを提出してください。(経路図や平面図の提出に代えることができます)

(2) 処理施設の種類、構造、使用時間及び消耗資材

処理施設の名称	厨房排水処理施設	<ul style="list-style-type: none"> ・汚水の系統別または一連の処理施設ごとに記入してください。汚泥の処理工程(濃縮・脱水等)がある場合は、別に「汚泥系」としてください。 ・形式には「連続自動式」「回分式」などと記入してください。 ・構造には処理施設の主要部分の材質を記入してください。(例、コンクリート製) ・付属機器類は仕様やカタログ等を添付してください。 ・処理の方式には排水処理の方法を記入してください。(例、活性汚泥法、接触酸化法など) ・書ききれない場合は別紙として資料を添付してください。 			
形 式	連続自動式				
構 造	別紙のとおり				
主 要 寸 法	別紙のとおり				
付 属 機 器 類	別紙のとおり				
能 力	120m ³ /日				
処理の方式	活性汚泥法				
工 事 着 手 (予定) 年月日	平成27年6月1日				
工 事 完 成 (予定) 年月日	平成27年8月1日				
使 用 開 始 (予定) 年月日	平成27年9月1日				
使用時間間隔及び1日あたりの使用時間	0時～24時 (24時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・使用時間の欄には、処理施設の使用時間を記入してください。営業時間ではないので注意してください。 ・季節変動がある場合はその旨を記入してください。 			
季節変動の概要	2, 8月は少なく、 11, 12月は多い。				
消耗資材の種類、用途及び使用量	生物活性剤「TK-1」 2kg/日 (別添パンフレットあり)	<ul style="list-style-type: none"> ・処理施設に使用する消耗資材を記入してください。資材の内容がわかるよう、なるべくパンフレットやカタログを添付してください。 			
そ の 他			<ul style="list-style-type: none"> ・工場又は事業場の配置図の中に、処理施設の設置場所を明示してください。 ・事業場と処理施設のフロアが異なる場合は、処理施設のあるフロアの図面を添付してください。 		

(3) 処理施設の設置場所及び配置 添付第 (1) 図のとおり

(4) 処理施設別 汚水量及び水質

処理施設の名称		厨房排水処理施設				
汚水量 (m ³ / 日)	通常		60	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>・汚水量(m³/日)の「通常」の合計は、7頁(7)のうちの洗浄用水の合計と一致させてください。</p> <p>・汚水の系統毎に汚水の量と、処理前後の水質を記入してください。水質欄の項目と処理前の水質は3頁(6)と同じにしてください。</p> </div>		
	最大		72			
pH	処理前		6~9			
	処理後		6~8			
BOD	処理前		1000			
	処理後		300			
SS	処理前		150			
	処理後		50			
動植物油	処理前		150			
	処理後		15			
窒素	処理前		100			
	処理後		50			
りん	処理前		10			
	処理後		2			
温度	処理前		30℃			
	処理後		30℃			
沃素消費量	処理前		100			
	処理後		20			
	処理前					
	処理後					
	処理前					
	処理後					
	処理前					
	処理後					

水質
 単位・温度、pHを除きmg/l、ダイオキシン類はPg-TEQ/l

(5) 汚水等の処理によって生じる残さ及び濃厚廃液の種類等

第2号様式

残さ等の種類	余剰汚泥	廃油
生成量	0.2 m ³ /日	0.5 L/日
含水率	98%	
保管方法	汚泥貯留槽	倉庫に1斗缶で保管
処理・処分 の方法	業者委託	業者委託
処理業者 (許可番号)	①運搬 ××産業 <許可番号>013-**-***** ②最終処分 〇〇センター(有) <許可番号>013-**-*****	同左

・廃液・汚泥等、排水処理にかかわる廃棄物が発生する場合、その内容を記入してください。
(廃棄物の例: 余剰汚泥、グリストラップ汚泥、廃油)

・含水率が未測定の場合、スラリー(未脱水)状ならば98%、脱水されていれば80%と記入してください。

・委託処理を行う場合、運搬・処理業者との契約の内訳が確認できるもの(契約書の写し等)も添付してください。

(6) 施設の施工者

名称	〇〇工業(株)
住所	〇〇区〇〇2-2-2 (XXXX) XXXX

・処理施設の施工者について記入してください。

(7) 使用水量 (m³/日)

給水源	用途	原料用水	洗浄用水	冷却用水	生活用水	その他 ()	合計
上水道		2	60		120		182
工業水道							
その他 ()							
合計		2	60		120		182

・使用する水量について、項目毎に記入してください。

・使用水量の合計は水道料金請求書等で確認してください。詳細な内訳量が不明な場合は推定で構いません。また、項目が足りない場合は追記しても構いません。

・洗浄用水の合計は3頁及び6頁の通常汚水量の合計と一致します。

・使用水量の合計のうち、原料用水を除いた量は、8頁の排水量(通常)の合計と一致します。

・公共下水道使用開始(変更)届を同時に提出する場合は、合計水量から原料用水を除いた量×稼働日数が月水量に一致します。休業日も生活排水がある場合は、その旨考慮してください。

(8) 用水及び排水の系統 添付第 (1) 図のとおり

・排水経路平面図(第1図)を参考に、建物又は敷地全体の用水経路及び排水経路を色分けするなどしてわかりやすく記入してください。

・地下に汚水の貯槽がある場合は、排水処理平面図(第2図)のように明示してください。

・ビル内のテナントの場合は、当該フロアの平面図に事業場からの排水系統図を記入するほか、1階の平面図で、その排水が公共下水道へ排出される位置も明示してください。

排出口番号		1	2			
排出口の名称		本館北	本館東			
排水量 (m ³ / 日)	通常	60	120			
	最大	72	150			
水質 単位・温度、 pHを除きmg/l、 ダイオキシン類は pg-TEQ/l	pH	通常	6~8	生活排水のみ		
		最大	5~9			
	BOD	通常	300			
		最大	400			
	SS	通常	50			
		最大	100			
	動植物油	通常	15			
		最大	20			
	窒素	通常	50			
		最大	60			
	りん	通常	2			
		最大	4			
	温度	通常	30℃			
		最大	30℃			
	酸素消費量	通常	20			
		最大	20			
	通常					
	最大					
	通常					
	最大					

・公共下水道へ接続する排出口毎に水量と水質を記入してください。

・排出口番号・排出口名称は任意のものとしてください。ただし、事業場平面図のものと同じとしてください。

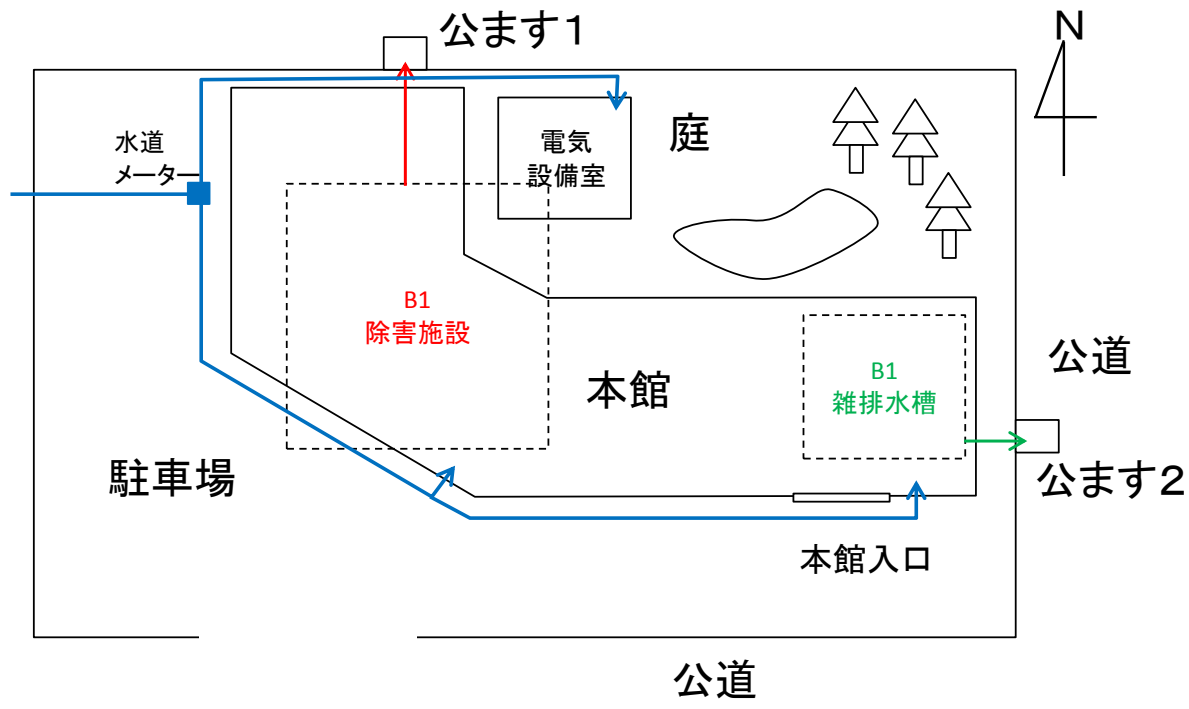
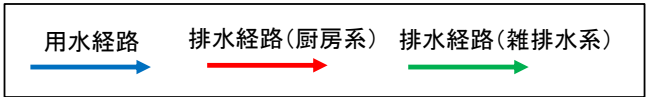
・記入する排水量(通常)の合計は7頁(7)の合計水量と同じとしてください。

・記入する水質欄の項目は3頁(6)と同じとしてください。

・生活排水しか排出されない公ますは「生活排水のみ」などとし、水質の記入は不要です。

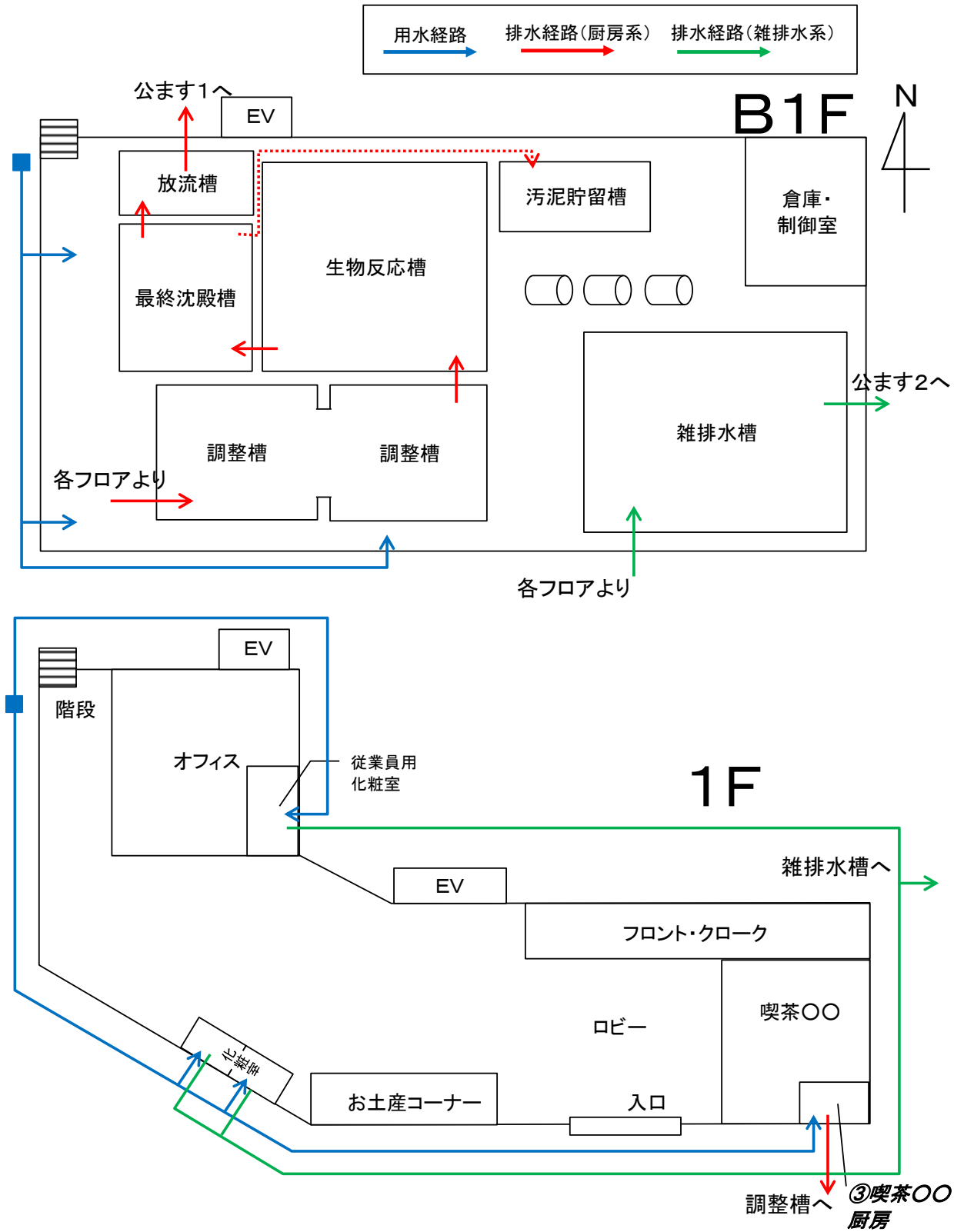
第1図 事業場平面図 (敷地平面図)

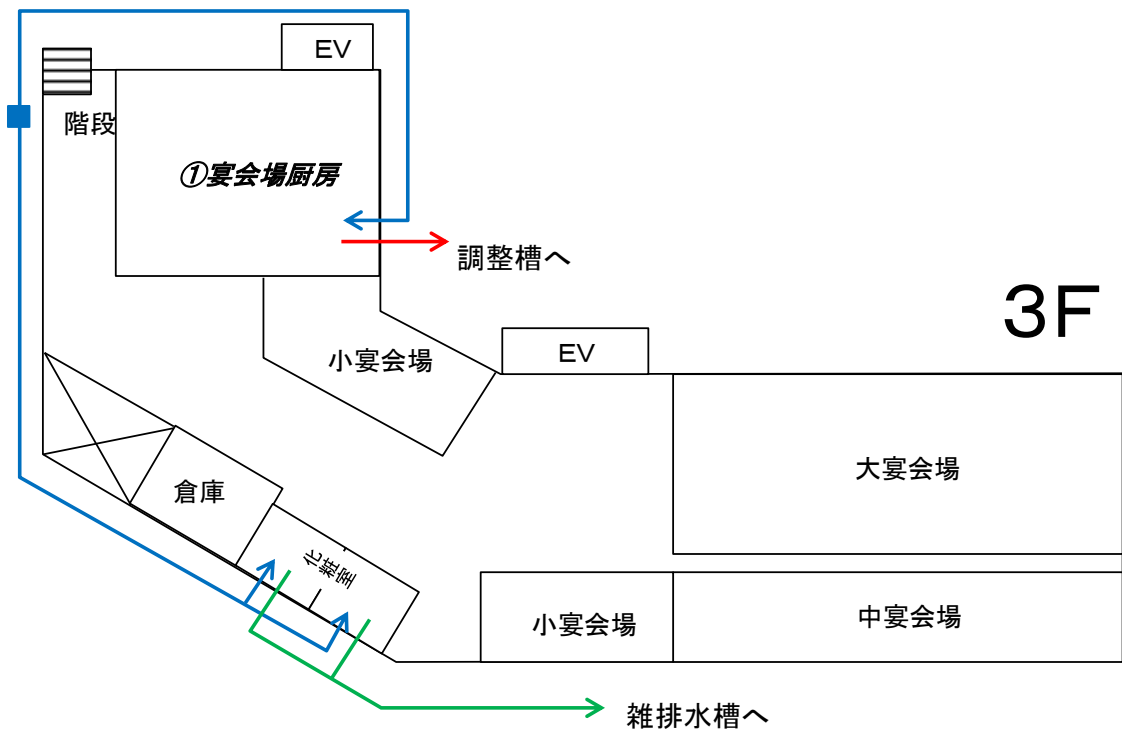
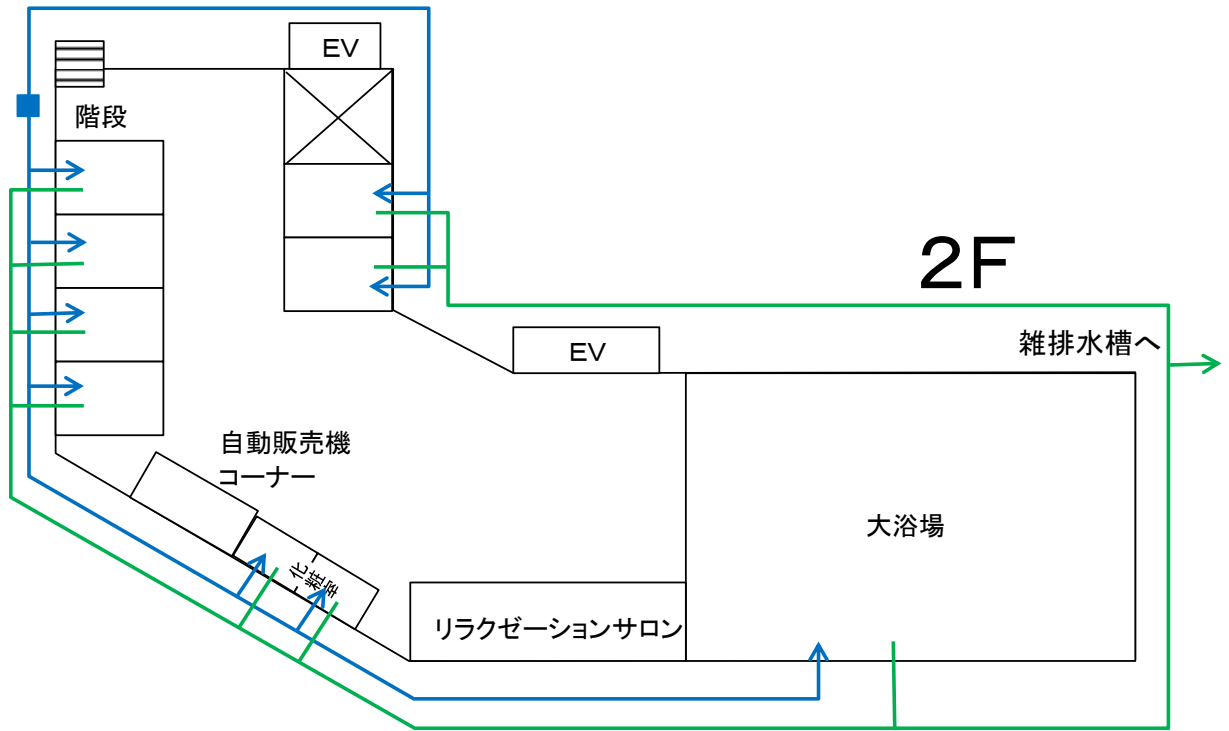
・施工会社等からの詳しい図面・設計計算書・容量計算書・維持管理指針等があれば、そちらを提出してください。

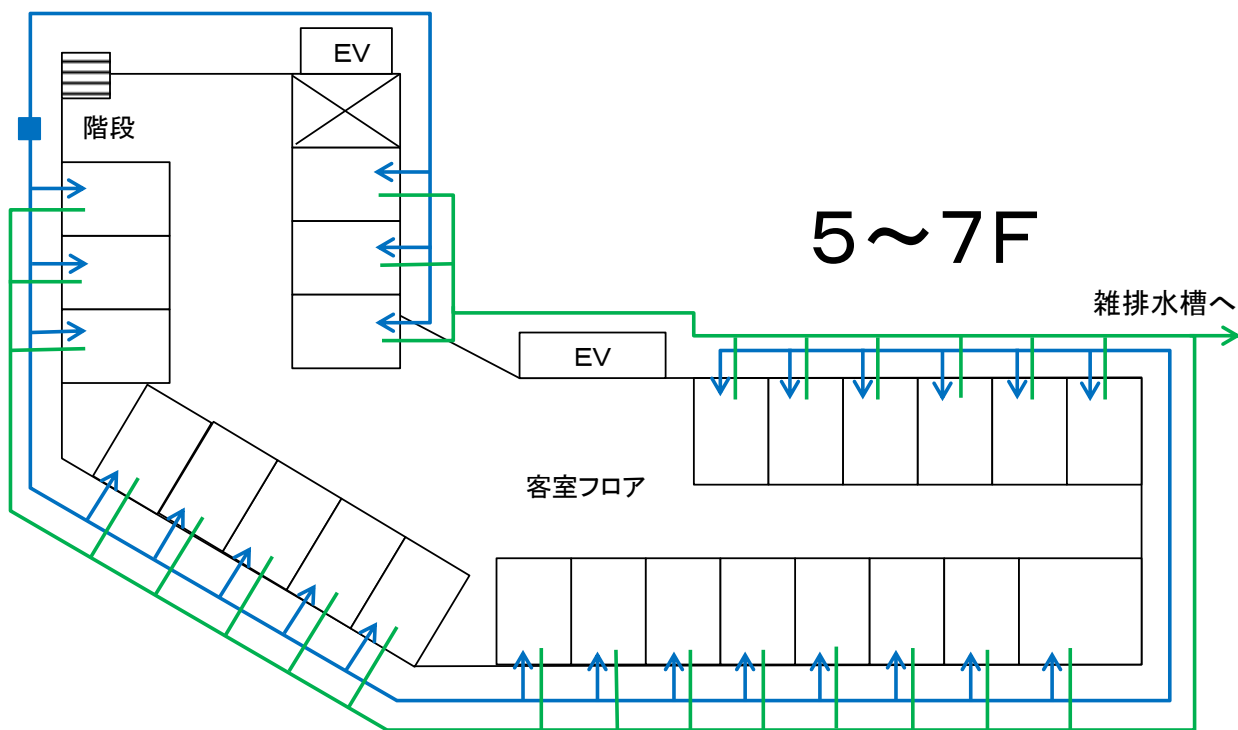
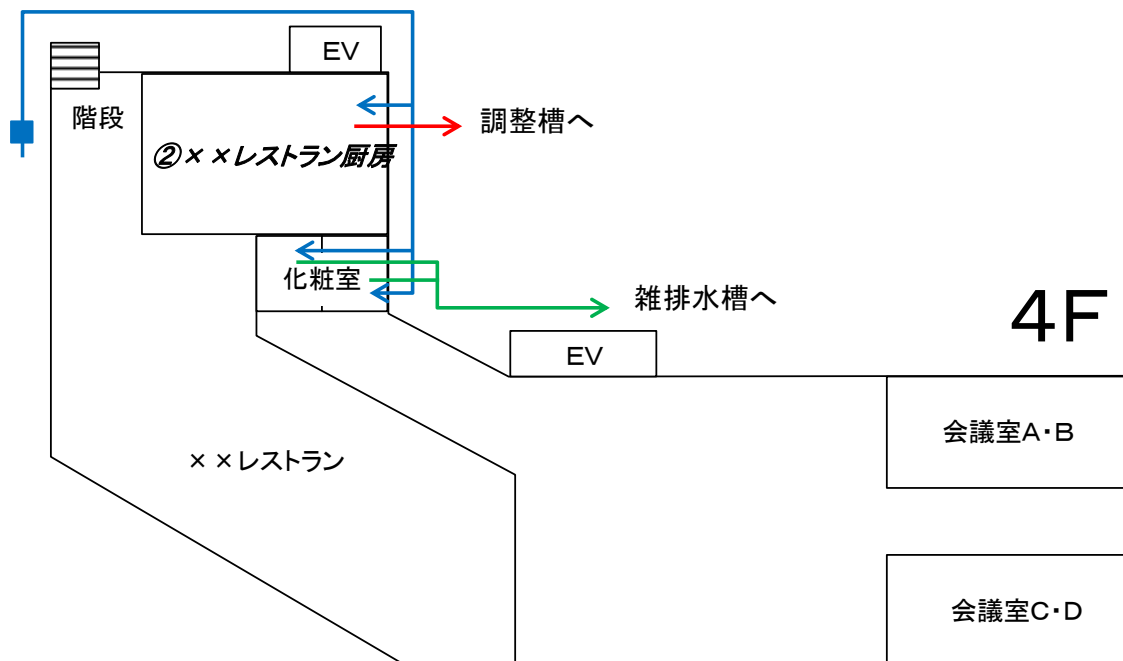


第1図 事業場平面図 (特定施設の設置場所、および用水・排水の系統)

・施工会社等からの詳しい図面・設計計算書・容量計算書・維持管理指針等があれば、そちらを提出してください。



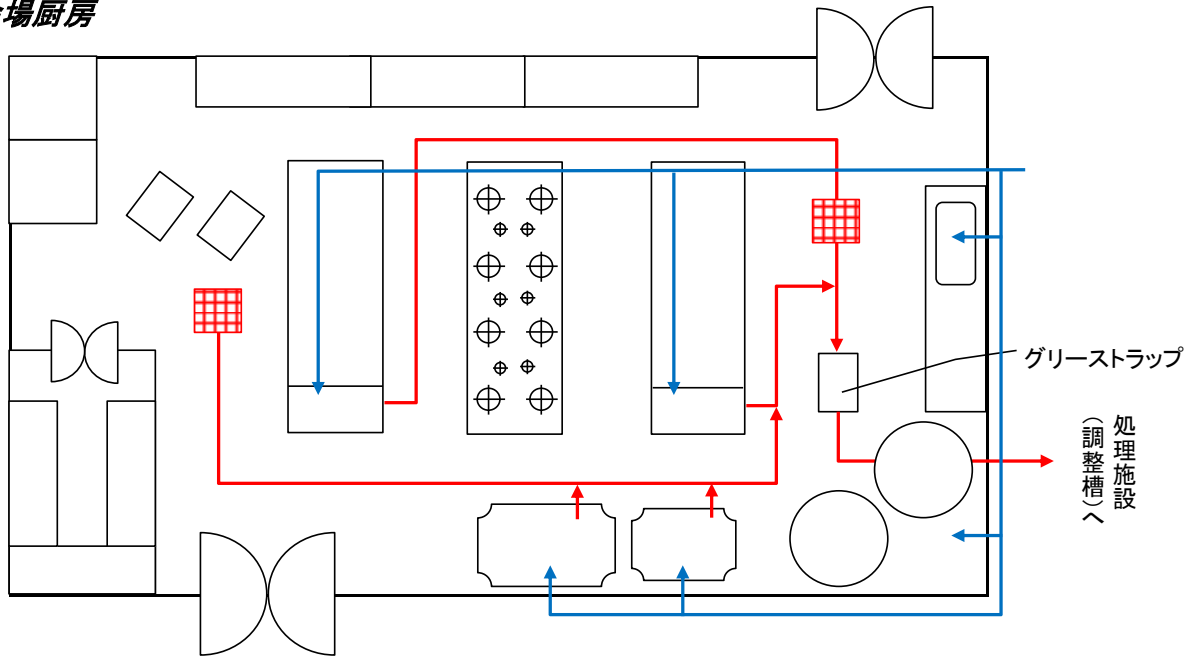




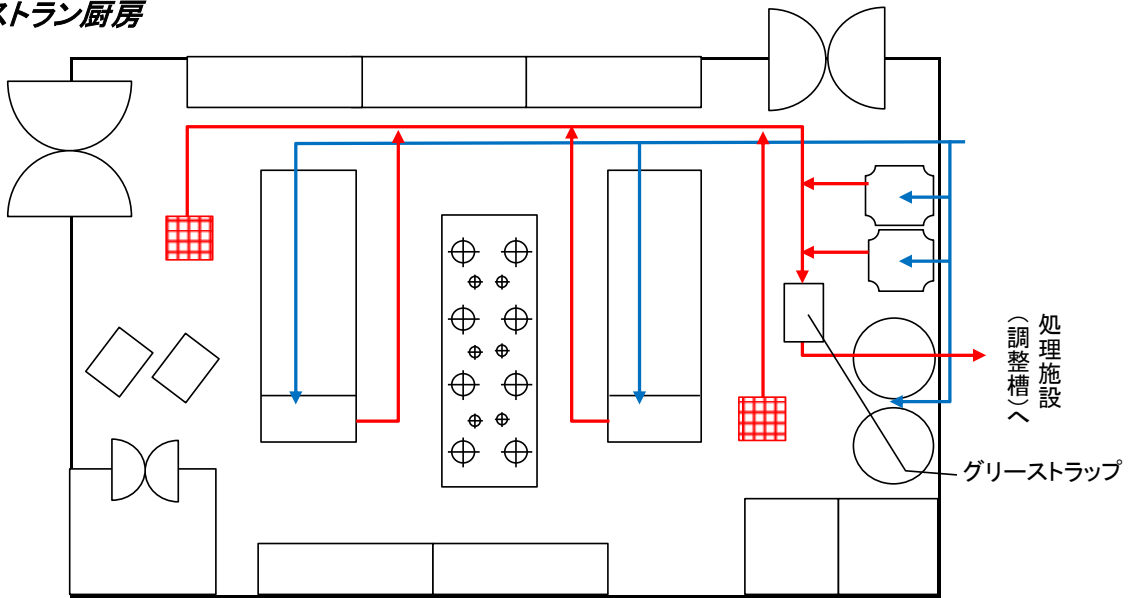
第1図 事業場平面図 (特定施設の設置場所、および用水・排水の系統)

・施工会社等からの詳しい図面・設計計算書・容量計算書・維持管理指針等があれば、そちらを提出してください。

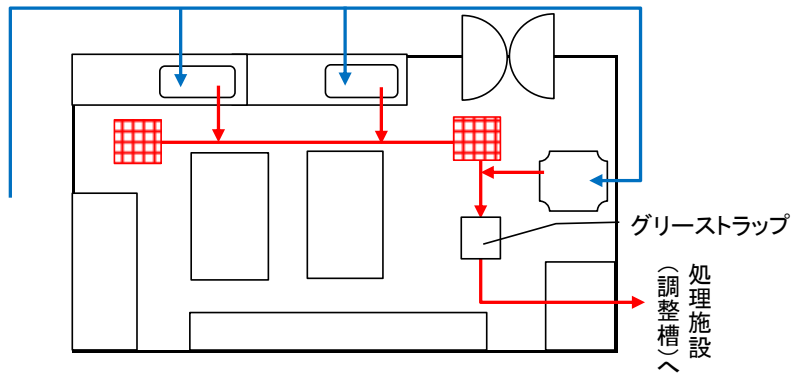
①宴会場厨房



②××レストラン厨房

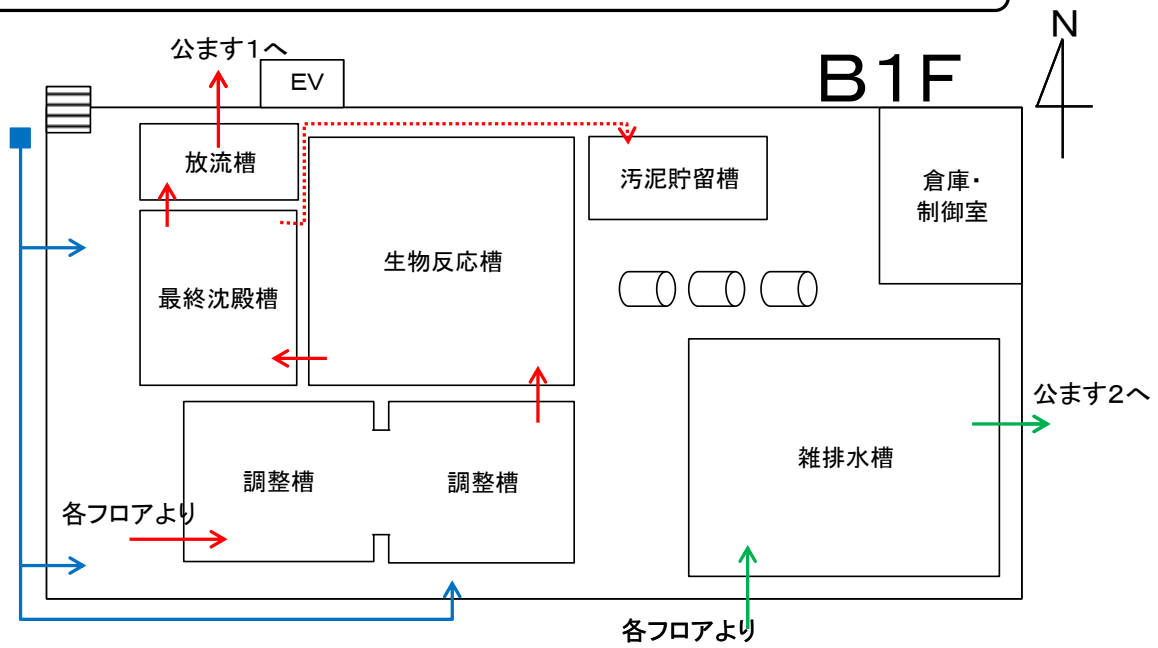


③喫茶〇〇厨房



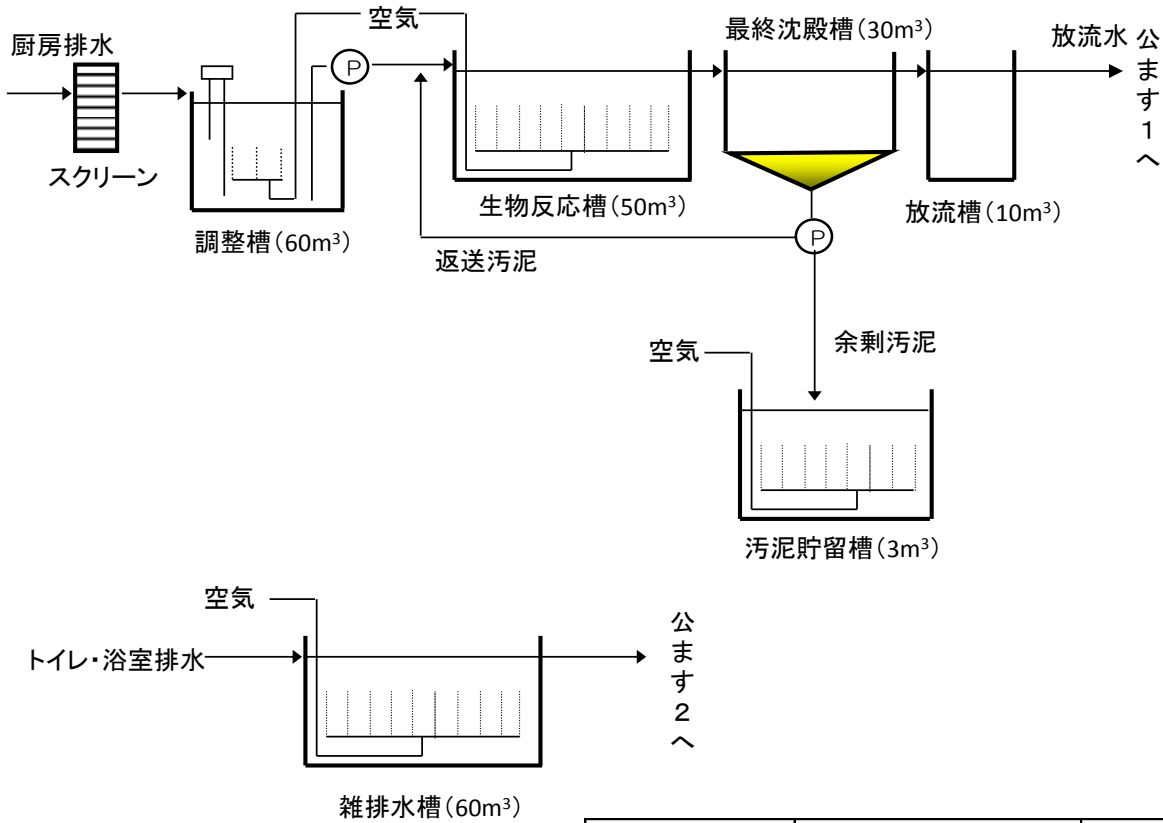
第2図 除害施設の平面図

・施工会社等からの詳しい図面・設計計算書・容量計算書・維持管理指針等があれば、そちらを提出してください。



第3図 排水処理フローシート

・施工会社等からの詳しい図面・設計計算書・容量計算書・維持管理指針等があれば、そちらを提出してください。



槽の名称	寸法(m)		有効容量 (m ³)
	幅	奥行 × 高さ	
調整槽	8.0	3.5 × 3.0	60.0
生物反応槽	6.0	4.0 × 3.0	50.0
最終沈殿槽	3.0	3.5 × 3.0	30.0
放流槽	1.5	3.0 × 3.0	10.0
汚泥貯留槽	2.0	1.5 × 1.5	3.0
雑排水槽	4.0	6.0 × 3.0	60.0